

■ お詫びと訂正

with NEO 別冊るる NEO

『新生児の生理 ビジュアルノート』におきまして、

下記の内容に誤りがございました。

ご執筆の先生ならびに読者の皆様に、謹んでお詫び申し上げますと共に、

下記の赤字のとおり訂正いたします。

・ p.5 「目次」

【誤】

State、非組織化行動と自己鎮静行動

【正】

State／組織化・非組織化行動

・【第1章】赤ちゃんの生理のきほん：18 皮膚

p.115

【誤】

オムツ皮膚炎では、新生児の薄い表皮、バリア機能が不十分という特殊性に加えて、排泄物がアルカリ性であることやオムツ内が多湿環境で皮膚が浸軟してバリア機能がさらに低下していることに起因している。

【正】

オムツ皮膚炎では、新生児の薄い表皮、バリア機能が不十分という特殊性に加えて、排泄物による汚染やオムツ内が多湿環境で皮膚が浸軟してバリア機能がさらに低下していることに起因している。

p.117

【誤】

オムツの中の皮膚は浸軟してバリア機能が低下しています。そこに加えて、弱酸性である皮膚は、アルカリ性の排泄物に覆われます（図2）。

【正】

オムツの中の皮膚は浸軟してバリア機能が低下しています。そこに加えて、**排泄物による化学的刺激が加わります**（図2）。

p.118 図2

【誤】

科学的刺激（便〔**アルカリ性**〕、消化酵素）

【正】

化学的刺激（**排泄物**、消化酵素）

p.118

【誤】

バリア機能は、汚れがそのままになっているとき、乾燥しているとき、皮膚がふやけているときに弱くなります。**例えば、皮膚は弱酸性でうんちはアルカリ性です。**うんち汚れはなるべく早めに清潔にしましょう。

【正】

バリア機能は、汚れがそのままになっているとき、乾燥しているとき、皮膚がふやけているときに弱くなります。うんち汚れはなるべく早めに清潔にしましょう。